



DNライティング株式会社

T6エースラインランプ用一体型調光器

ADP2-800 (位相制御方式)

(100V, 50/60Hz共用)

ご購入ありがとうございます。ご使用前に必ずお読みください。
この説明書は取付工事が終わりましたら、ご使用になるお客様に必ずお渡しください。

取扱説明書

保存用

13年07月24

営業本部/東京都品川区西五反田1-13-5 : 03-3492-4460
札幌営業所 : 011-824-5051

仙台営業所 : 022-283-3401

名古屋営業所 : 052-322-2861

大阪営業所 : 06-6338-1081

福岡営業所 : 092-471-8075

安全上の注意



警告



●調光器の分解、改造は絶対にしないでください。感電の原因となります。



●取付工事や清掃のときは、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。
●万一、煙がでたり、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに電源を切り、異常状態がおさまったことを確認してから工事店、電器店に修理を依頼してください。



●断熱材や燃えやすいもので覆ったりしないでください。調光器の故障や火災の原因となります。
●調光器の隙間などに金属類や燃えやすいものを差し込まないでください。感電や火災の原因となります。



●取付工事及び電源工事の際は取扱説明書にしたがって確実にこなしてください。感電、火災、ケガの原因となります。



注意

●電源電圧は、定格入力電圧の±6%以内で使用してください。不点灯やチラツキ、調光器故障や発煙、発火の原因となることがあります。
●屋内用調光器です。屋外では使用しないでください。屋外で使用すると感電、火災の原因となることがあります。
●引火する危険性の雰囲気（ガソリン・可燃性スプレー・シンナー・ラッカー・粉塵など）で使用しないでください。火災、爆発の原因となることがあります。
●雨や水滴がかかる状態や湿度の高いところでは使用しないでください。漏電、感電や故障の原因となることがあります。

●酸などの腐食性雰囲気のところでは使用しないでください。故障や漏電、落下の原因となることがあります。
●粉塵の多いところでは使用しないでください。接触不良の原因となることがあります。
●電線の接続点や調光器の口出線には、張力を加えないでください。接続部の断線、絶縁破壊、接触不良による感電、発煙、発火の原因となることがあります。
●8~10年経過した調光器は絶縁性能が低下していますので使用しないでください。そのまま使用しますと火災の原因となることがあります。調光器の交換をおすすめします。

ご使用上の注意

●取付工事は必ず電気工事店に依頼してください。
●周囲温度は5℃~40℃の範囲で使用してください。この温度範囲以外で使用した場合、ランプ不点灯やチラツキの原因となることがあります。
●雑音防止回路を内蔵していますが、周辺の音響機器などに雑音障害を及ぼすことがあります。なるべく他の音響機器とは離し(1m以上)、別系統の電源での使用をおすすめします。
●調光器の近くで赤外線リモコン機器を使用しないでください。リモコン機器が正常に動作しないことがあります。
●明るさを下限レベルまで調光させていくと消灯寸前の付近ではランプの放電が不安定となるため、チラツキとして感じる場合があります。

●長時間消灯する際は、本体のスイッチでおこなってください。ロータリーツマミでは電源がOFFになりません。なお、本体のスイッチで高頻度の点滅をしますと、ランプが短寿命になります。1日3回程度としてください。
●清掃する際は、シンナーやベンジンなどの溶剤は使用しないでください。水または中性洗剤で濡らした柔らかい布でよく絞ってから拭いてください。故障の原因となることがあります。
●長期間使用しない場合は、部屋の湿度により絶縁が悪くなる場合がありますので、部屋の換気をおこなうか定期的に通電してください。
●ランプ寿命末期の場合は、ランプ不点灯や点滅を繰り返すことがあります。早期にランプ交換をお願いします。
●回路の特性上、スイッチをONしたときにランプが一瞬明るくなる場合がありますが異常ではありません。

調光設備の設計・施工上のご注意

弊社調光システムを正しくご使用いただくため以下のことをお守りください。

●調光器を2台以上並べて設置する場合は、相互の熱影響を受けますので、上下方向10cm以上、左右方向5cm以上離してください。
●調光器は定格容量以下で使用してください。特にエースラインランプ調光用電磁安定器は、調光器使用時の最大入力電流で負荷容量を計算してください。
●調光器から電源、安定器までの配線には、VVVF、IVのφ1.6またはφ2.0を使用してください。また、調光器から安定器までの総配線長はφ1.6の場合は30m以内、φ2.0の場合は50m以内としてください。
●電源を入れたまま調光器負荷側の白(共通線)一赤(調光線)リード線間を短絡しますと調光器は一瞬で壊れますのでご注意ください。
●エースラインランプ調光用安定器は工事終了後、安定器二次側の赤一赤または青一青及び白一白間で調光点滅に関係なく、常時AC5V程度が出ていることをテスターで確認してください。AC5V程度が出ていない状態ですとランプ短寿命の原因となります。

●調光・点滅用電磁安定器は一般の電磁安定器よりうなりが大きくなりやすいため、設置場所には十分配慮して使用してください。
●軽負荷でのご使用は避けてください。チラツキの発生や明るさが100%の状態を維持し調光ができなくなる原因となることがあります。FLR25T6以下のランプを使用いただく場合は2灯以上でご使用ください。
●FLR25T6より短いランプを使用いただく場合は電子安定器を使用してください。電磁安定器で使用するとうなりがでなくなったり安定器の故障の原因となることがあります。
●施工の際は電気設備技術基準第206、207条に準じておこなってください。
●その他、調光する場合は以下の点に注意してください。
調光システムはスムーズに調光できるようにするため、常にランプフィラメントを予熱していますので、減光時でもランプ両端のフィラメント部分がわずかに明るくなります。長時間ご使用にならない場合は、必ず本体のスイッチを切ってください。

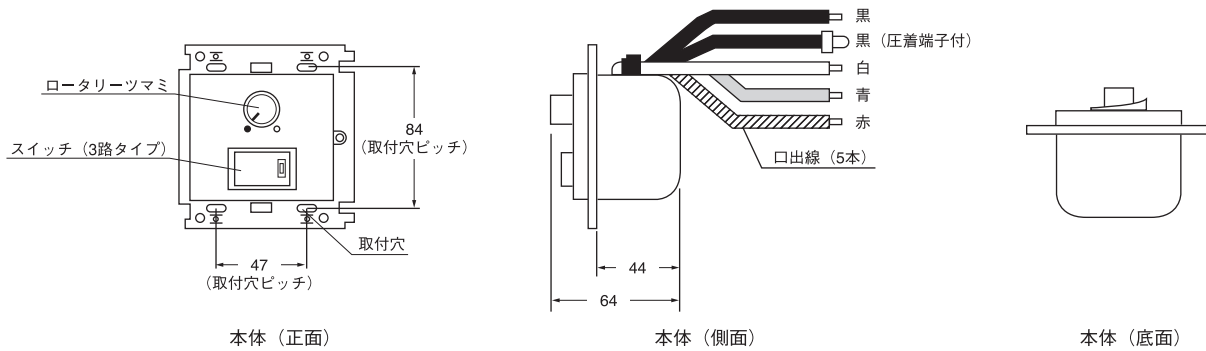
調光設備の設計・施工上のご注意

弊社調光システムを正しくご使用いただくため以下のことをお守りください。

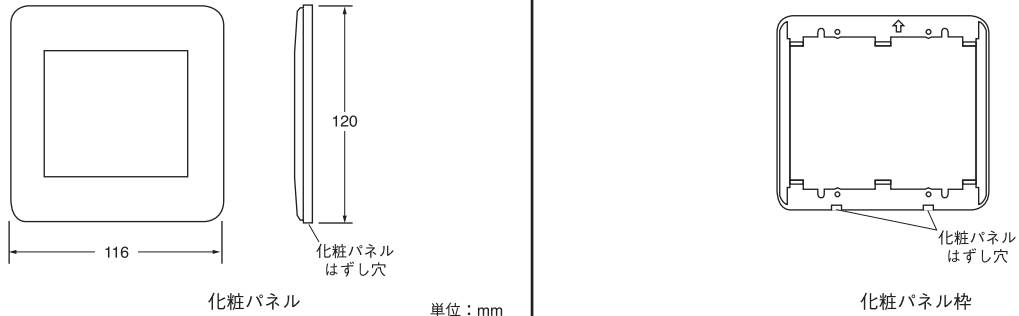
- 主幹の電源線には電流容量に見合った配線用遮断器と電線を使用してください。
- 電源変圧器は調光専用変圧器としてください。
動力用と兼用しますと電圧変動の影響を受けやすく、また、音響用と兼用すると雑音（ノイズ）の影響を受け照明負荷のチラツキの原因となります。（同一変圧器系に大容量の位相制御負荷があると、高調波や電源歪みが発生し、照明負荷のチラツキの原因となります。）
- 変圧器容量の概算容量は下式でもとめられます。なお、10kVA以上の場合には別専用変圧器として増設してください。
 - ・変圧器容量＝総負荷設備容量×需要率×余裕率
 - 総負荷設備容量とは照明負荷容量の合計値。需要率は0.7～0.8。
 - 余裕率は1.1～1.2が一般的な値ですが出来る限り大きい容量の変圧器を使用してください。

- 白熱灯の電源は、別系統からとってください。チラツキの原因となることがあります。
- 幹線設備は極力太く、短くしてください。
 - ・調光装置は位相制御方式を採用しておりますので、配線が長いと配線インピーダンスの影響と中性線に歪波形の大電流が流れることにより、電流波形歪が発生し、照明負荷のチラツキの原因となります。
- 電源は中性線（N相）を持った以下の方式をご使用ください。
 - 単相3線式／単相2線式／三相4線式
- その他、工事上の制約がありますので、取り付けに際しては電気設備技術基準に準じて施工してください。

各部の名称と外形寸法



単位：mm



単位：mm

定格

形式	項目	入力電圧 (V)	周波数 (Hz)	定格容量 (A)	本体質量 (Kg)	適合安定器		使用可能台数
						現行形式	ニッポ旧形式	
ADP2-800	エースラインランプ 調光・点滅用 電子安定器	100	50/60	8	0.35	ERC42D	EAHC-11ES-T	26台まで
						ERC64D	EAHC-11EM-T	20台まで
						ERC96D	EAHC-11EL-T	12台まで
ADP2-800	エースラインランプ 調光・点滅用 電磁安定器	100	50/60	8	0.35	MRC425D(426D)	CRA-115(6)	14台まで
						MRC645D(646D)	CRB-115(6)	10台まで
						MRC965D(966D)	CRC-115(6)	9台まで

- ・エースラインランプ調光・点滅用電磁安定器の形式末尾の5Dは50Hz調光用、6Dは60Hz調光用を表します。
- また、適合安定器の旧形式末尾の5は50Hz、6は60Hzを表します。
- ・電子安定器、電磁安定器の詳細については各取扱説明書をご参照ください。
- ・安定器からランプ（ソケット）までの二次配線長は電子安定器は3m以内、電磁安定器は30m以内としてください。
- ・調光時の明るさのバラツキを防止するため、同一安定器、同一長さのランプを使用してください。
- ・FLR25T6より短いランプを使用いただく場合は電子安定器を使用してください。電磁安定器で使用すると調光ができなくなったり安定器の故障の原因となることがあります。

取付方法

1. アウトレットボックスの埋め込み

ADP2-800を取り付けるために中型四角アウトレットボックス深型と中型スイッチカバー（2コ用13ミリカバー）の組み合わせで壁に埋め込んでください。

2. 電源および安定器への配線と結線

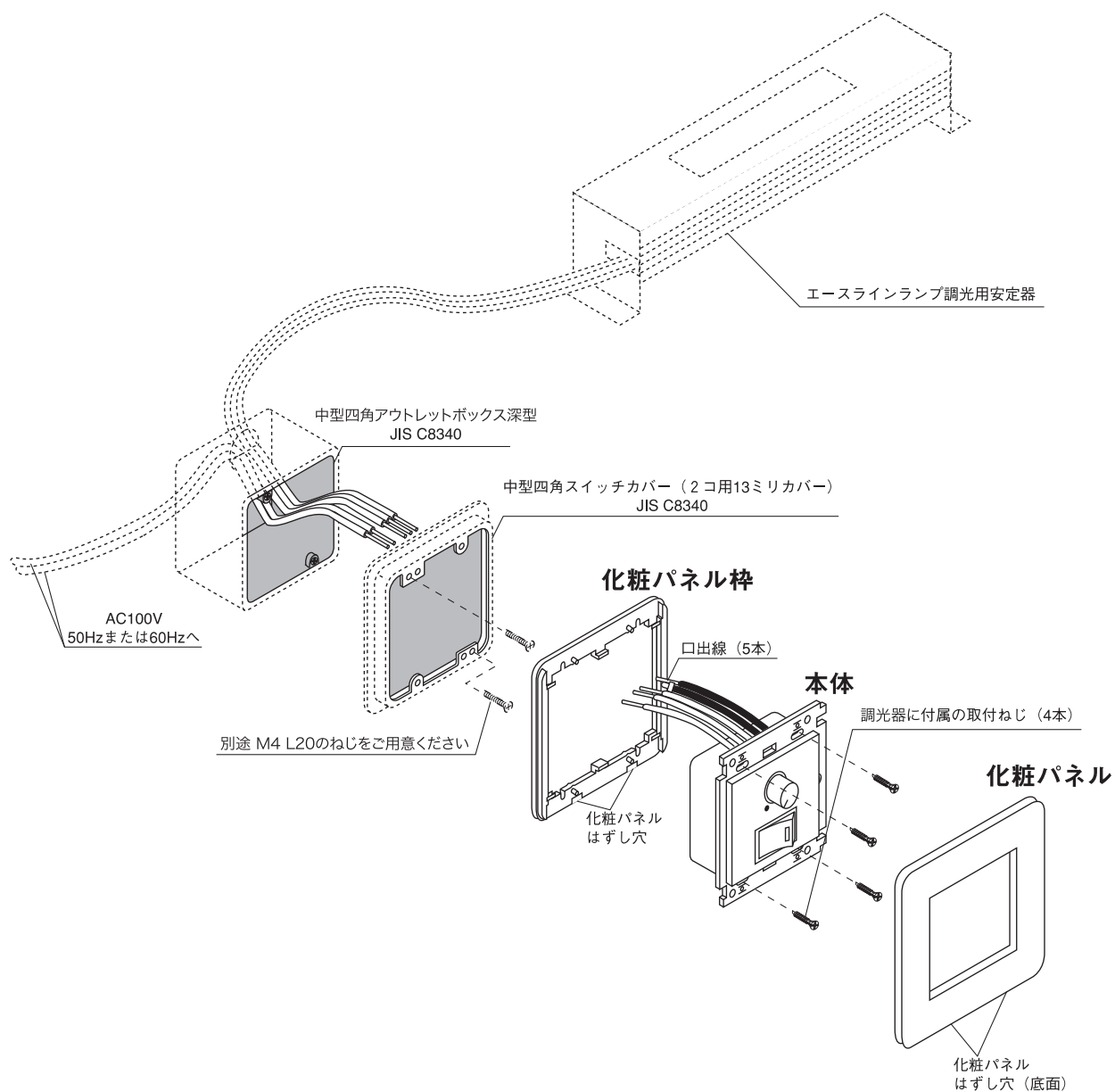
口出線を化粧パネル枠に通し、本体銘板の配線図にしたがって結線をおこなってください。

3. 本体の取り付け

化粧パネル枠を化粧パネルはずし穴を下にして本体に取り付け、調光器に付属した取付ねじ4本で本体ごと固定してください。化粧パネルは化粧パネルはずし穴を下にして本体に取り付けてください。

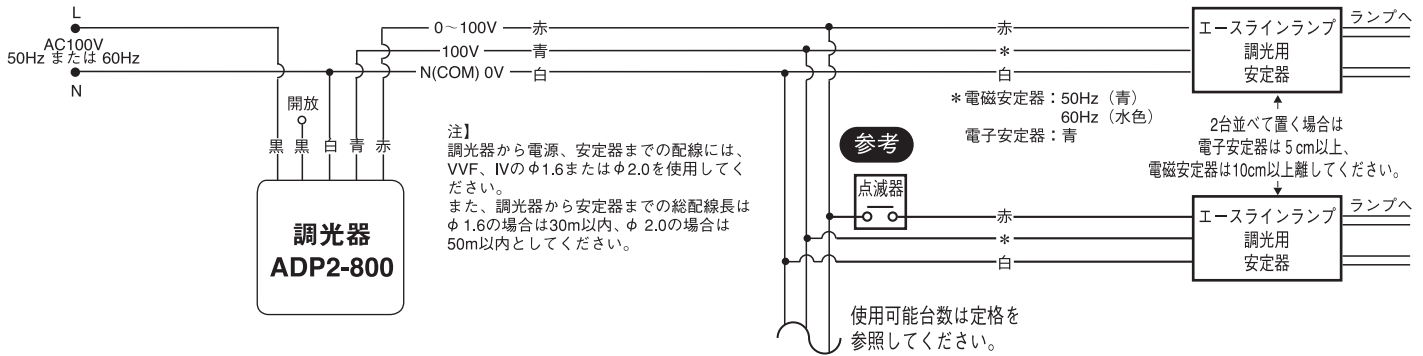
4. 電源の供給

全ての作業が終わりましたら電源を入れ、ランプが点灯・調光することを確認してください。推奨調光範囲は明るさ25%~100%です。

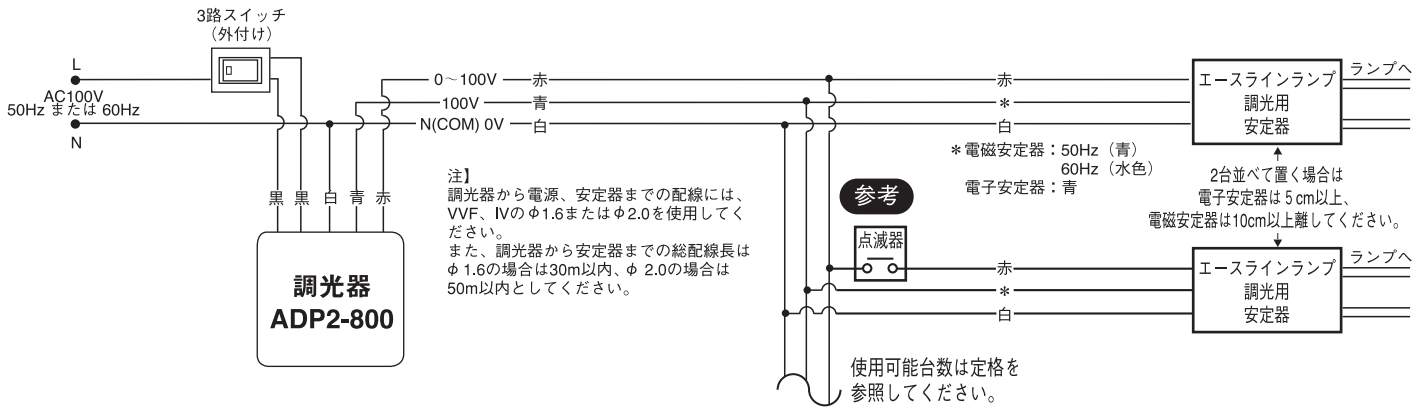


結線図

●本体スイッチのみを使用する場合



●3路スイッチ(別売)を使用する場合



参考 点減調光

リレーを使用して点減させながら調光が行えますが、安定器の種類によって次のリレーを使用してください。
調光用電子安定器を使用する場合：有接点リレーまたはゼロクロス機能のないSSR (半導体リレー)
調光用電磁安定器を使用する場合：有接点リレー

エースラインランプ調光用安定器からソケットへの配線

- 安定器とランプ(ソケット)間の電線の長さは、電子安定器は3m以内、電磁安定器は30m以内としてください。
- ソケットは使用する安定器の二次電圧に適したものを使用してください。
- ソケットの詳細についてはソケットの取扱説明書をご参照ください。

T6エースラインランプ用ソケット定格

形式	定格電圧 (V)	定格電流 (A)
NRS3, TRS3	600	3
PR66, T6EF2, T6EG, T6E		1
RSFK	1000	3

注] ERC96DまたはMRC965D(966D)を使用する場合のソケットは、必ずRSFKを使用してください。

良好な調光を行うための調光・点減用安定器とランプの組み合わせ

・1台の調光器で数灯を調光する場合、安定器は同じ種類に統一して同一サイズのランプをご使用ください。

安定器とランプの組合せ例	結果 (調光具合)	対策
	○	良好な調光がおこなえます。
	×	同一長さのランプを使用しているが、安定器の種類が異なるため調光時のランプの明るさに差が生じる。 安定器を1種類に統一する。
	×	同一安定器であるが、長さの異なるランプを使用しているため、長い方のランプが先に暗くなってしまう。 同一長さのランプを使用する。(やむを得ず長さの異なるランプを使用するときは、長さの違いを15%以内としてください。)
	×	調光時のランプの明るさに差が生じる。 調光器を2台に増やす。

《誤配線の場合は次の現象が発生しやすくなります。》

- 調光できない。
- ランプの両端がすぐ黒くなる。

上記の現象の場合、電源を切って配線を確認し、配線しなおしてください。